

[民 法]

出題の意図

[第1問]

物権的請求権についての基本的知識を問う問題である。

[第2問]

共同相続における債権の帰属についての基本的知識を問う問題である。

[商 法]

出題の意図

〔第1問〕は、利益供与規制の対象となる行為に関する理解を問うものである。

〔第2問〕は、新株予約権無償割当てに関する制度の理解を問うものである。

国際法

<出題意図>

いずれも修士論文作成に必要な国際法の基本的知識・理解を問うものである。[第1問]は、属地主義、属人主義をはじめとする国家管轄権の根拠を管轄権行使の具体例を論じつつ説明できるか、[第2問]は、国際法学における基本概念の正確な理解を問うものである。

[経 濟 法]

出題の意図

[第1問]

一つの事業者が不当な取引制限に該当する行為を主導しつつも、合意形成の場に全ての違反行為者が参加しているわけではない状況に対する独占禁止法上の評価について質す問題である。合意形成という不当な取引制限の基本概念を適切に理解しているかが試される。

[第2問]

「特定デジタルプラットフォームの透明性及び公正性の向上に関する法律」が独占禁止法等の既存の経済法とどのように関連しているかという点についての理解を確認する問題である。デジタルプラットフォーム規制の潮流を適切に把握しているかが明確になる。

[知的財産法]

出題の意図

本問は、人の声に関して、著作権法等による保護の点にも触れながら、パブリシティ権による保護の可能性についての論述を求めるものである。

[開 発 協 力 論]

出題の意図

国際開発における主要なイシューである貧困問題とその解決手段として注目されているガバナンスのあり方との関係性を問う、オーソドックスな問題。開発政治学や開発経済学等において「開発とガバナンス」という領域として、長らく議論されているテーマであり、開発協力を学ぶ上での基本的な知識といえよう。数多くの先行研究を自分なりに整理し、説明することができるか、そこから自分なりの論点をつけ、それを分析する視角を持ち得ているかという洞察力を測ることを意図した出題である。

[国際行政論]

出題の意図

- 国際行政論における重要概念であるグローバル・ガバナンスの理解を問うこと。
- 論理操作力、すなわち具体的な事象を抽象的な概念を使って分析する能力を測ること。
- 文章表現力、すなわち自分が主張したいことを論理的で簡潔な文章にして他者に伝える能力を測ること。